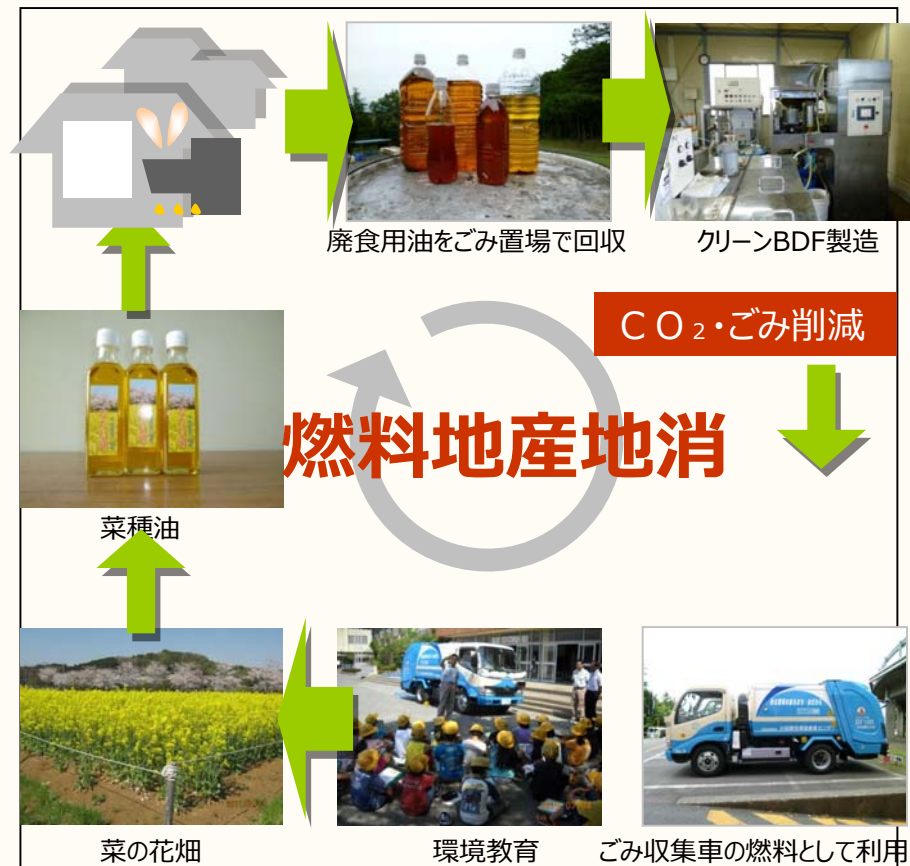


新エネルギー普及プロジェクト～燃料地産地消～

小田原市では、CO₂とごみの削減を目的として、協働事業者である(株)小田原衛生美化サービス・(有)オーイーシーとともに、廃食油による「燃料地産地消」事業に取り組んでいます。

一般家庭の廃食油は、通常、ごみとして廃棄され、燃やされてしまいますが、小田原市では、各家庭の身近にある市内すべてのごみ置場を通して、**広く家庭から廃食油を回収**し、クリーンBDF（バイオディーゼル燃料）に精製した後、市内のごみ収集作業にあたる車両に**BDF 100%**の燃料として利用しています。

プロジェクトの実施場所	小田原市
削減量(予測)	年間 11 t-CO ₂
在庫量	—
クレジットの次回発行予定	—
1t-CO ₂ あたりの希望単価	—



「菜の花プロジェクト」

資源循環のモデル事業として、市内の菜の花畑から採取した菜種油を家庭などで使用した後に、BDFに精製し、ごみ収集車に利用するという取り組みも行っています。

この事業は、地元小学生とともに菜の花の刈り取り・菜種油搾りなどを行い、環境教育にも役立っています。

■ 担当者連絡先

小田原市環境部環境事業センター管理係
 (TEL : 0465-34-7325 担当 : 染野)
 E-mail:kanse@city.odawara.kanagawa.jp